

給食のアレルギー問題 学校のいじめ対策は



山本敬介議員

1 東日本大震災 被災地支援と防災

問 1年6カ月が経過した気仙沼などの被災地を訪ねましたが、復興は全く進んでいません。予算措置している以上、決して忘れることなく、積極的な支援活動をするべきと考えますが、村の支援状況を伺います。

中村村長 現在のところ具体的な支援実績がないのが現状です。人的支援についても、北海道を通じて要請が来ていますが、村の職員体制では難しい状況です。

問 村長は行政の長として被災地を訪問する機会を持つべきと考えますが伺います。

中村村長 今後、機会があれば被災地を訪問してこの目で見たいと思っています。

問 9月1日に中央地区で災害避難訓練が実施されましたが、今後、他地域でも実施しますか。また、独居老人の避難など、より具体的な訓練の必要性について伺います。

中村村長 トナムは源流地域ですので訓練のテーマは違ってくると思います。今後はアンケートや対策本部での意見集約をして検討していきたいと思えます。

問 歩く避難路の整備内容と時期を具体的に伺います。

中村村長 千歳側、宮下側からの避難路は今年度調査、来年度工事したいと考えてます。歩道の勾配は現状より緩やかにして、手すり等も必要だと思えます。

問 水害時のために、ライフジャケットを、学校や福祉施設へ配備する考えがないか伺います。

中村村長 学校やそれぞれの施設とも十分打合せしながら検討

討していきたいと考えています。

2 雲海テラスの 村民割引を

問 世界中から注目を集めているトナムリゾートの雲海テラスですが、村民割引を検討する考えはないか伺います。

中村村長 村の助成制度を作る考えはありませんが、リゾート負担のミニミニビーチ、木林の湯同様の村民割引をお願いしたいと考えています。

3 学校でのいじめ

問 昨年10月の滋賀県大津市の中学生自殺事件をきっかけに全国でいじめ問題が改めて浮き彫りになっていきます。一週間前の9月5日にも札幌市で中学校1年生の自殺がありました。村内でのいじめの有無、状況について教育長の認識を伺います。

藤本教育長 緊急のアンケート調査を、村の3校でも全学年で行いましたが、現在のところ、各学校では、いじめはないという認識です。ただ、アンケート調査だけで終わらせず、小規模校の特徴を生かして、教師全員が生徒を見て異常があれば共有

して対応していくよう通知をしています。

問 いじめは普段のコミュニケーションの中でどこにでも起こると認識し、ふざけ合いからいじめに変わる瞬間を大人が指摘をして、本人に認識させることが大切だと思います。教育長の認識を伺います。

藤本教育長 まるつきりいじめがない訳ではなく、過去には学校や保護者と話し合い、指導したこともあります。いじめの兆候に気づいたときにはエスカレートしないような対応をとるべきだと思います。

4 給食のアレルギー 対応は

問 学校教育、社会教育全般の管轄をしている教育委員の名前や活動の公表状況を伺います。

藤本教育長 平成20年より報告書を図書館で公表しています。が、今後ホームページを使った情報の提供を検討していきたいです。

問 食品アレルギーは深刻な現代病の一つで、乳幼児から幼児期かけては鶏卵と牛乳が半数以上、その他にもカニ、エビ類、

小麦、果物、魚介類、ナッツが主なアレルギーの原因物質です。村内の学校での今のアレルギーの状況、給食のアレルギー対応について状況を伺います。

藤本教育長 占冠中央小学校に1名、トナム小中学校では4名の児童がアレルギーを持っています。事前に1カ月分の細かい成分表示をした給食予定献立表を配付しています。

問 保護者は代替えのおかずを作って持たせている現状ですが、給食費は同じように払っており、食べられないので廃棄される量も多くなります。

また、アレルギーがあると分かっているのに、ひたすら給食で牛乳が来ると聞きました。これは怠慢以外のなにものでもないと思うのですが、教育長の認識を伺います。

藤本教育長 牛乳の件は、麦茶等での代替えで現在是对応していると聞いています。村の学校給食は富良野広域連合で提供されておりありますので、広域連合委員会に意見として伝えていきたいと思えます。また、広域連合議会でも取り上げてくれるのではないかと考えています。